

《Diversity on the Arts Project》

2017年4月より「アート×福祉」の視点で、社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）に寄与する人材の育成と、多様な人々が共生できる社会環境の創出を目指す「Diversity on the Arts Project」（DOOR）の授業科目を開設。2020年より4期生を迎え新年度スタートをします。

●授業の概要

当事者や実践者との対話を通して、現代の福祉を考えるオムニバス形式の講義や介護施設での実践的な演習、そして藝大と東京都美術館連携事業「とびらプロジェクト」のアートコミュニケーター講座の受講もあります。社会的マイノリティーが抱える問題をはじめ、カルチャーギャップなどの様々な社会的課題に目を向け、多様化する現代社会に対してアートがどのように機能していくことができるかを社会人受講生と共に学び、ダイバーシティへの理解を深めてゆくプログラムです。

代表教員：日比野 克彦（東京藝術大学 美術学部長）

在学中、必修科目4科目＋選択科目1科目を履修すると、履修証明が付与されます。

DOORガイダンス（学生用） 5月8日(金)14:00～15:30 場所：ZOOM

// Diversity on the Arts Project //

〔必修科目〕

- ・ダイバーシティ実践論（2単位）
- ・ケア実践場面分析演習（2単位）
- ・ケア原論（2単位）
- ・プログラム実践演習（2単位）

〔選択科目〕【集中講義】

- ・美術鑑賞実践演習（2単位）
- ・アクセスデザイン基礎（2単位）
- ・人間形成学総論（2単位）
- ・アートプロジェクト実践論（2単位）
- ・色彩学（2単位）
- ・ハンディームービー プラクティス（2単位）

//5.8ガイダンスについて//

ガイダンスに参加する学生は、左記のアンケートフォームQRにアクセスし事前登録をお願いします。
前日にzoomのリンク先をお送りします。



//受講生について//

履修認定制度に登録した藝大生以外の一般履修者と一緒に授業を受けます。授業内でのディスカッションやグループワークを通してながら交流を図ってゆきます。

//文部科学省 履修証明プログラム とは？//

大学がより積極的な社会貢献を促進するため、社会人を対象とした学習プログラム（履修証明プログラム）を開設し、その修了者に対して法に基づく履修証明書（Certificate）を交付できる制度です。120時間以上の履修で東京藝術大学から「履修証明書」が発行されます。

お問い合わせ先

Diversity on the Arts Project / DOOR

〒110-0002 東京都台東区上野桜木1-7-5 ハウス上野の山B1F

Mail: info-door@ml.geidai.ac.jp

Web: <http://door.geidai.ac.jp>



Diversity on the
Arts Project